

報道機関 各位

平成28年8月吉日

## 京都の子供たち120人がリーダーシップを学ぶ ～1914(大正3年)から続く赤十字の教育プログラムです～

京都の子供たち約120人が、下記のリーダーシップ・トレーニングセンターに参加します。2泊3日の共同生活を通じて、自主性とリーダーシップを高めることを目的に、「みんなのために、自ら進んで行動する」ボランタリー・サービス(V・S)や先見などを学びます。

指導にあたるのは、ボランティアで参加される京都の小中高の学校の先生ですが、普段の学校生活とは少し違います。まずは「指示」「号令」「チャイム」がありません。子供たち自ら「気づき」「考え」「実行」する環境をつくり、子供たちが成長するのを見守ります。

2日目には、実際の災害現場で医療救護にあたる医師の話の聞いたり、防災ゲーム「いえまですごろく」や、防災の歌「まもるいのちひろめるぼうさい」などで防災を学ぶとともに、リーダーシップに最も必要な、命の尊さと人を思いやる心を育みます。

### 記

1. 日 時 平成28年8月6日(土)～8月8日(月) ※取材受付日8月7日(日)09:00～14:00
2. 会 場 宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」  
宇治市西笠取辻出川西1番地
3. 事業名 **京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター**



### ボランタリー・サービス(V・S)とは

各自の自発性に基づくボランティア活動を学習に取り入れます。  
(例: 役割をあらかじめ定めた係活動の廃止、V・Sの時間の設定)

### 先見とは

「いつどんな事態に直面しても、これに対処できるように日ごろから備えておく」という意味です。

### 8/7(日)

#### 防災学習を通じて、先見と人を守ることを学ぶ

・09:00～12:00

防災の歌「まもるいのちひろめるぼうさい」や防災ゲーム「いえまですごろく」、避難所運営ゲームや救急法など

・13:00～14:00

#### 高階 謙一郎 医師

(京都第一赤十字病院 医療社会事業部長)

子供たちに実際の災害現場のことや、災害に備えて何ができるのか、災害が発生した時にどうすればいいのかを優しく伝えます。



(担当)組織振興課 松田 聡  
TEL 075-541-9326 FAX 075-541-1361  
携帯電話090-3168-0029  
E-mail matsuda@redcross-kyoto.jp